

令和 6 年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム

(園番号) No. 1 1 9 (園名) 西安居保育園

| カテゴリー                     |                                                                  | 園での取り組み<br>(具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)                                   | 年度末達成度<br>(◎・○・△・×) | 備考                                                                                  |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅰ 子どもの育ちを保障します            | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します | (1) 子どもの発達状況を理解し、一人一人に合わせた保育実践に努める。                                            | (1) ◎               | 日々の保育の中で、一人一人の発達状況を抑え、クラス間で話し合いながら保育に努めることができた。                                     |
|                           |                                                                  | (2) 行事の後には、保護者にアンケートを行い、次回に活かす。                                                | (2) ◎               | 保護者からの意見、感想を取り入れながら行事を検討していった。引き続き次年度に活かしていく。                                       |
|                           |                                                                  | (3) 保育カウンセラー、様々な専門機関と連携し、発達の特性や支援方法を共通理解する。                                    | (3) ◎               | 保育カウンセラーからの助言や支援方法を職員間で共有し、共通理解して、実践に活かすことができた。また、カウンセラーと保護者と面談を設け、子ども理解に繋げることができた。 |
|                           |                                                                  | (4) 危機管理マニュアルに基づく対応が瞬時にできるよう、読み合わせを行い共通理解する。                                   | (4) ◎               | 突然の災害に対応できるよう職員間で確認し合ったことを次年度も継続していく。                                               |
|                           | 保育者等の専門性及び資質の向上を図ります                                             | (5) 研修に積極的に参加し、職員一人一人の知識及び専門技術を磨き、実践に活かす。                                      | (5) ◎               | 園外である研修やオンライン研修に積極的に参加し、全職員に周知し、実践に活かすことができた。                                       |
|                           |                                                                  | (6) 園長研修で知り得た知識・情報や、運営、保育に対しての動向などを伝達し、共通理解を図る。                                | (6) ◎               | 園長研修で知り得た事を職員に伝達し、職員全員で共通理解を図ることができた。                                               |
|                           |                                                                  | (7) 研修開催情報を収集し、計画的に参加できるようにする。                                                 | (7) ◎               | 園外である研修やオンライン研修に参加できるよう職員配置を考慮し、計画的に参加できた。                                          |
| Ⅱ 子育てライフを支援します            | 認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります                                  | (8) 保育体験や個人懇談の実施、連絡帳、送迎時の対話での情報交換や保護者への育児に対する助言を行う。                            | (8) ○               | 全クラスの保育体験や、個人懇談、随時の個人面談、連絡帳、送迎時、園での様子や家庭での様子の情報交換ができた。                              |
|                           |                                                                  | (9) 感染症、熱中症、食中毒関連マニュアルに基づき、予防対策と発症時の対応を共通理解する。                                 | (9) ◎               | 職員全体で各マニュアルを共有し、予防対策、発生時の対応に繋がった。                                                   |
|                           | 地域子育て家庭への支援の充実を図ります                                              | (10) 園開放で未入園の親子を受け入れ、育児相談や情報提供を行う。                                             | (10) ◎              | 受け入れを実施し、育児相談を行った。                                                                  |
|                           |                                                                  | (11) 福井市の子育て支援に関する情報を提供し、活用できるよう玄関にパンフレットを置く。                                  | (11) ◎              | 保護者、園児が見やすいように玄関に置くことで気軽に持ち帰りができるようにした。                                             |
|                           |                                                                  | (12) 研修を受ける中で、保育の相談や援助の知識及び技術向上に努める。                                           | (12) ◎              | 研修で知り得た知識や技術を、保育に活かすことができた。                                                         |
| Ⅲ 多様な連携と協働を進めます           | 子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します                          | (13) こども家庭センターと連携を密にし、健診・育児教室・育児相談会等への保護者の参加を促す。                               | (13) ◎              | 子どもへの適切な支援・援助、また保護者に専門機関の情報提供を行うことができた。                                             |
|                           |                                                                  | (14) 地域の公民館運営審議会や社会福祉協議会に参加する。                                                 | (14) ◎              | 地域の関係機関の一つとして参加し、情報共有できた。                                                           |
|                           |                                                                  | (15) 家庭・地域・学校協議会に参加し、情報交換をし、連携を深める。                                            | (15) ◎              | 就学支援や土砂災害時の避難について情報共有を行い、連携を深めることができた。                                              |
|                           |                                                                  | (16) 子育て支援に関わる関係機関を把握し、情報提供を行う。                                                | (16) ◎              | 必要に応じて、情報提供できるように情報を収集し、丁寧に案内できた。                                                   |
|                           | 地域の教育・保育機能を強化します                                                 | (17) 小学校や中学校、公民館等、地域で開催する行事に参加し、連携や協働を図る。                                      | (17) ◎              | 小学校、中学校の行事に参加し、連携や協議を図ることができた。                                                      |
| Ⅳ 子育て文化を育みます              | 子育てへの関心を高めます                                                     | (18) 地域の子育て家庭に向け、園開放の開催や子育てに関する情報提供を行い、子育て支援を広める。                              | (18) ◎              | 地域の子育て家庭に向け、園開放や園行事への呼びかけを行い、支援の場を広めることができた。                                        |
|                           |                                                                  | (19) 地域連携会議等で保育園での活動等について伝える機会を持つ。                                             | (19) ○              | 会議に参加し、園の活動について伝えることができた。                                                           |
|                           | 子育て文化につながる活動を広げます                                                | (20) 保護者を対象とした子育て支援活動を実施する。                                                    | (20) ○              | 園開放や園行事等を知らせ、参加後に育児相談を行ったり、個人懇談を実施したりすることができた。                                      |
|                           |                                                                  | (21) 地域の様々な委員会や行事に参加し、地域の子育て家庭や文化、環境について状況を把握する。                               | (21) ○              | 地域の様々な委員会に参加し、文化、環境について状況を把握することができた。                                               |
| Ⅴ 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます | 子ども・子育て関連 3 法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます                       | (22) 研修に参加して得た情報を職員間で共通理解する。                                                   | (22) ◎              | 研修で得た情報を終礼やクラスの中で伝えることができた。                                                         |
|                           |                                                                  | (23) 園内研修で取り組んだ課題の発表を研究発表会にて意見揭示を行う。                                           | (23) ◎              | 「子どもの姿を通して、遊びが広がる環境構成を工夫する」をテーマに行ってきた各クラスの担任の意見や他の職員からの情報を共有しながら実践し得たものを発表することができた。 |
|                           | 社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます                                         | (24) アクションプログラムに基づいた活動計画を作成し、実施した内容を記録し、職員全員で保育内容等について反省評価をしながらよりよい方法で保育を実施する。 | (24) ○              | アクションプログラムに基づいて子育て支援を職員間で話し合いながら進めることができた。                                          |

《園での取組み》 24 のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。